

## 農村の女性で、そーれそーれのふるさとづくり (平成27年度認定)



今帰仁村にある「そーれの会」の母体となる農村生活改善グループは、昭和28年に結成され、製品づくりの研究などをおして農業振興や地域活性化に寄与してきた。

平成8年には、農村交流施設として整備された「今帰仁の駅そーれ」の管理運営を受託したことをきっかけに、「経験や技術を活かして地元農産物を使った加工販売がしたい」という思いから、グループ内の12人の女性で「そーれの会」を結成、その後平成18年に法人化を実現した。以来、「女性だけで起業を!」「今帰仁産農産物の素晴らしさを知ってほしい!」を合言葉に、農産物直売所、加工施設、レストランを併設した「今帰仁の駅そーれ」で活動を続けている。

「そーれ」とは、「めんそーれ(いらっしゃいませ)」など、人をもてなす時に使われる方言と、「ソーレ!ソーレ!」とかけ声をあげながら村の活性化に取り組む意気込みを込めた名前になっている。

直売所では新鮮な地元農産物やオリジナル加工品が販売されている。またレストランでは、平成20年度「食アメニティコンテスト」で農林水産大臣賞を受賞した「そーれ定食」をはじめとする島野菜料理を提供しており、地域内外からのお客で賑わっている。さらに、高校生インターンシップ受入れや料理教室、県内外イベントへの出店など、活発に活動しており、都市と農村の交流の場になっている。このように「そーれの会」は、農村での女性起業の先駆けであるとともに、地域内外の交流に寄与していることから、「沖縄、ふるさと百選」交流部門に認定された。



修学旅行生 料理体験



毎年4月に開催されるそーれ誕生祭



男の料理教室



やんばる物産展(東京)



島野菜たっぷりのそーれ定食



今帰仁の駅 そーれ